

SDGs 及び環境に関するアンケート調査 結果報告書

令和4年4月

経済環境部 環境政策課

目 次

I アンケートの概要	1
II アンケート結果	
1 提出状況	2
2 設問別回答結果	
(1) 基本情報	3
(2) SDGsについて	6
(3) 環境への関心について	9
(4) 地球温暖化対策について	10
(5) ごみの減量化について	12
(6) 自然環境について	14
(7) 生物多様性について	15
3 自由意見	16

I S D G s 及び環境に関するアンケートの概要

1 調査目的

S D G s 及び環境施策の普及推進のための基礎資料とするため、小・中学生及び一般市民を対象にしたアンケート調査を実施したものです。

2 実施方法

(1) 調査対象者

次世代を担う小学生・中学生と現役世代の S D G s や環境に関する認知度等の差異を把握するため、以下のとおりとする。

- ①【子ども】 市内在住の小学生・中学生（小4～中2） 1, 500世帯
 - ②【一般】 18歳以上の海老名市民 1, 500世帯
- 計3, 000世帯

※②は①の対象及び令和3年度市政アンケート対象者を除き、地区別人口按分が無作為抽出

(2) 調査期間

令和4年1月11日～2月10日

(3) 調査方法

送付方法：郵送

回答方法：持参、郵送、インターネット及びFAX

Ⅱ アンケート結果

1 提出状況

回答率は子ども世代が44.33%、一般世代が43.20%で全体では43.77%でした。これは令和3年市政アンケートの回答率(42.00%)を超えた結果となり、SDGsや環境に対する市民の関心の高さが表れたものと考えられます。

また、webによる回答が約3割(29.8%)を占めており、アンケート実施におけるweb回答の有効性が示されていると考えられます。

【子ども】 (n=1,500)			【一般】 (n=1,500)			【子ども+一般】 (n=3,000)		
回答方法	回答数	回答率	回答方法	回答数	回答率	回答方法	回答数	回答率
web	191	12.74%	web	201	13.40%	web	392	13.07%
郵送	471	31.42%	郵送	439	29.27%	郵送	910	30.33%
持参	1	0.07%	持参	6	0.40%	持参	7	0.23%
FAX	2	0.13%	FAX	2	0.13%	FAX	4	0.13%
合計	665	44.33%	合計	648	43.20%	合計	1,313	43.77%

2 設問別回答結果

(1) 基本情報

問1 回答者の年齢・年代

【子ども】 (n=665)

選択肢	回答数	回答率
9歳	31	4.66%
10歳	128	19.25%
11歳	143	21.50%
12歳	140	21.05%
13歳	124	18.65%
14歳	97	14.59%
未回答	2	0.30%

【一般】 (n=648)

選択肢	回答数	回答率
29歳以下	63	9.72%
30歳代	92	14.20%
40歳代	126	19.44%
50歳代	106	16.36%
60歳代	110	16.98%
70歳代以上	150	23.15%
未回答	1	0.15%

問2 回答者の世帯人数

【子ども】 (n=665)

選択肢	回答数	回答率
2人	16	2.41%
3人	101	15.19%
4人	332	49.92%
5人以上	216	32.48%

【一般】 (n=648)

選択肢	回答数	回答率
1人	81	12.50%
2人	224	34.57%
3人	165	25.46%
4人	110	16.98%
5人以上	66	10.19%
未回答	2	0.31%

問3 住まいの種別

【子ども】 (n=665)

選択肢	回答数	回答率
戸建て住宅 (一軒家)	461	69.43%
集合住宅 (マンション等)	199	29.97%
3 その他	5	0.75%

【一般】 (n=648)

選択肢	回答数	回答率
戸建て住宅 (持家)	357	55.09%
戸建て住宅 (賃貸)	9	1.39%
集合住宅 (持家)	174	26.85%
集合住宅 (賃貸)	99	15.28%
その他	5	0.77%
未回答	4	0.62%

問4 居住年数

【子ども】 (n=665)

選択肢	回答数	回答率
1年未満	5	0.75%
1年以上～ 5年未満	36	5.41%
5年以上～ 10年未満	133	20.00%
10年以上～	478	71.88%
未回答	13	1.95%

【一般】 (n=648)

選択肢	回答数	回答率
1年未満	19	2.93%
1年以上～ 5年未満	72	11.11%
5年以上～ 10年未満	57	8.80%
10年以上～ 20年未満	114	17.59%
20年以上	377	58.18%
未回答	9	1.39%

問5 居住地域

【子ども】

(n=665)

選択肢	回答数	回答率
東柏ヶ谷	48	7.22%
柏ヶ谷	52	7.82%
望地	13	1.95%
勝瀬	2	0.30%
国分南	48	7.22%
国分北	30	4.51%
杉久保北	25	3.76%
大谷	0	0.00%
浜田町	8	1.20%
国分寺台	25	3.76%
杉久保	0	0.00%
上河内	2	0.30%
中河内	1	0.15%
本郷	6	0.90%
大谷南	22	3.31%
大谷北	34	5.11%
さつき町	5	0.75%
中新田	38	5.71%
今里	19	2.86%
社家	22	3.31%
中野	20	3.01%
門沢橋	30	4.51%
杉久保南	19	2.86%
上今泉	71	10.68%
中央	28	4.21%
河原口	39	5.86%
上郷	14	2.11%
下今泉	19	2.86%
扇町	6	0.90%
泉	10	1.50%
めぐみ町	1	0.15%
未回答	8	1.08%
不明	0	0.00%

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
東柏ヶ谷	59	9.10%
柏ヶ谷	41	6.33%
望地	4	0.62%
勝瀬	2	0.31%
国分南	41	6.33%
国分北	44	6.79%
杉久保北	28	4.32%
大谷	0	0.00%
浜田町	6	0.93%
国分寺台	29	4.48%
杉久保	0	0.00%
上河内	0	0.00%
中河内	3	0.46%
本郷	13	2.01%
大谷南	13	2.01%
大谷北	23	3.55%
さつき町	7	1.08%
中新田	50	7.72%
今里	10	1.54%
社家	18	2.78%
中野	12	1.85%
門沢橋	28	4.32%
杉久保南	24	3.70%
上今泉	50	7.72%
中央	36	5.56%
河原口	37	5.71%
上郷	16	2.47%
下今泉	17	2.62%
扇町	8	1.23%
泉	14	2.16%
めぐみ町	7	1.08%
未回答	7	1.08%
不明	1	0.15%

(2) SDGsについて

<SDGsの認知度>

SDGsについてどのように知っているかという問いに対し、子ども世代は60%以上が「内容まで知っている」と回答している一方、一般世代については40%弱にとどまっており、世代間でSDGsの浸透度合いに差が出る結果になりました。

なお、「名前は聞いたことがある」まで含めると子ども世代で90%弱に達し、一般世代でも80%を超えており、「SDGs」があらゆる世代に普及していることが確認できました。

問6 SDGsの認知度

【子ども】

(n=665)

選択肢	回答数	回答率
内容まで知っている	403	60.60%
名前は聞いたことがある	182	27.37%
知らない	79	11.88%
未回答	1	0.15%

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
内容まで知っている	256	39.51%
名前は聞いたことがある	286	44.14%
知らない	104	16.05%
未回答	2	0.31%

＜えびなSDGs環境マイレージ＞

令和3年度から開始した参加型イベントである「えびなSDGs環境マイレージ」の認知度は子ども世代、一般世代のいずれも20%に届いていない結果となりました。

イベントを知ったきっかけについては、子ども世代は学校・習い事が、一般世代では広報えびなの割合が多くなりました。

また、イベントを知っていたが参加しなかったと回答した割合は、いずれの世代も多かったことから、内容を見直し、参加しやすくなる工夫が必要と考えられます。

問7 「えびなSDGs環境マイレージ」の認知度及び参加状況

【子ども】

(n=665)

選択肢	回答数	回答率
知っていて、参加した	13	1.95%
知っていたが、不参加	60	9.02%
イベントを知らなかった	592	89.02%
未回答	0	0.00%

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
知っていて、参加した	3	0.46%
知っていたが、不参加	99	15.28%
イベントを知らなかった	545	84.10%
未回答	1	0.15%

問8 「えびなSDGs環境マイレージ」を知ったきっかけ

※問7で「知っていて、参加した」または「知っていたが、不参加」を選択した人が回答

【子ども】

(n=73)

選択肢	回答数	回答率
広報えびな	20	27.40%
市HP・フェイスブック	1	1.37%
その他インターネット	2	2.74%
メールマガジン	2	2.74%
学校・習い事	37	50.68%
コミセンなどのチラシ	4	5.48%
家族や友だち等との会話	7	9.59%
未回答	0	0.00%

【一般】

(n=102)

選択肢	回答数	回答率
広報えびな	79	77.45%
市HP・フェイスブック	3	2.94%
その他インターネット	4	3.92%
メールマガジン	0	0.00%
学校・職場	6	5.88%
公共施設の配架物	9	8.82%
家族や知人との会話	0	0.00%
未回答	1	0.98%

＜市に今後、積極的に取り組んでほしい目標＞

子ども世代・一般世代のいずれも目標 1 1「住み続けられるまちづくりを」が最も多く、目標 3「すべての人に健康と福祉を」が 2 番目に多い結果となりました。続けて、子ども世代は、目標 1 0、目標 1 6、目標 1 5 の順に、一般世代は目標 4、目標 8、目標 1 3 の順となっており、世代による違いがでています

問 9 市に今後、積極的に取り組んでほしい目標（複数回答）

【子ども】

(n=665)

選択肢	回答数	回答率
1 貧困をなくそう	3 0 1	45.26%
2 飢餓をゼロに	2 4 7	37.14%
3 すべての人に健康と福祉を	4 3 8	65.86%
4 質の高い教育をみんなに	3 3 2	49.92%
5 ジェンダー平等を実現しよう	2 8 3	42.56%
6 安全な水とトイレを世界に	3 0 1	45.26%
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	2 7 4	41.20%
8 働きがいも 経済成長も	2 2 6	33.98%
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	1 4 3	21.50%
10 人や国の不平等をなくそう	3 8 8	58.35%
11 住み続けられるまちづくりを	4 6 5	69.92%
12 つくる責任 つかう責任	2 5 0	37.59%
13 気候変動に具体的な対策を	2 9 3	44.06%
14 海の豊かさを守ろう	2 9 5	44.36%
15 陸の豊かさも守ろう	3 6 6	55.04%
16 平和と公正をすべての人に	3 7 2	55.94%
17 パートナーシップで目標を達成しよう	1 8 7	28.12%
未回答	3	0.45%

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
1 貧困をなくそう	2 6 8	41.36%
2 飢餓をゼロに	1 4 9	22.99%
3 すべての人に健康と福祉を	4 7 1	72.69%
4 質の高い教育をみんなに	3 0 7	47.38%
5 ジェンダー平等を実現しよう	1 5 6	24.07%
6 安全な水とトイレを世界に	2 2 3	34.41%
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	2 2 8	35.19%
8 働きがいも 経済成長も	2 9 4	45.37%
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	1 7 2	26.54%
10 人や国の不平等をなくそう	2 1 1	32.56%
11 住み続けられるまちづくりを	5 0 0	77.16%
12 つくる責任 つかう責任	1 7 8	27.47%
13 気候変動に具体的な対策を	2 7 1	41.82%
14 海の豊かさを守ろう	1 3 4	20.68%
15 陸の豊かさも守ろう	1 7 7	27.31%
16 平和と公正をすべての人に	2 5 7	39.66%
17 パートナーシップで目標を達成しよう	1 1 1	17.13%
未回答	1 3	2.01%

(3) 環境への関心について

<環境に関する情報を見聞きする場面>

子ども世代・一般世代のいずれも環境に関する情報を見聞きする場面として「テレビ・ラジオ」が最も多く、「インターネット・メールマガジン」や「広報えびな」も多くの回答を集めました。また、子ども世代では「学校」が2番目に多い回答となっています。

問10 環境に関する情報を見聞きする場面（複数回答）

【子ども】

(n=665)

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
テレビ・ラジオ	387	58.20%
インターネット・メールマガジン	272	40.90%
広報えびな	338	50.83%
環境に関するイベント	260	39.10%
本・マンガ	245	36.84%
学校	346	52.03%
家族や友達等との会話	239	35.94%
習い事	190	28.57%
未回答	2	0.30%

選択肢	回答数	回答率
テレビ・ラジオ	546	84.26%
インターネット・メールマガジン	260	40.12%
広報えびな	226	34.88%
環境に関するイベント	31	4.78%
本・マンガ	48	7.41%
学校	103	15.90%
家族や友達等との会話	106	16.36%
習い事	31	4.78%
未回答	8	1.23%

<環境への関心度の変化度合い>

子ども世代・一般世代のいずれも「関心度がとても高くなった」と「関心度が高くなった」の合計が60%以上であり、世代を問わず、環境への関心が高まっていることが確認できる結果となりました。

問11 以前（子ども：1年前、一般：5年前）からの関心度の変化度合い

【子ども】

(n=665)

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
関心度がとても高くなった	83	12.48%
関心度が高くなった	316	47.52%
以前と特に変わらない	260	39.10%
関心度が低くなった	4	0.60%
関心度がとても低くなった	0	0.00%
未回答	2	0.30%

選択肢	回答数	回答率
関心度がとても高くなった	79	12.19%
関心度が高くなった	333	51.39%
以前と特に変わらない	222	34.26%
関心度が低くなった	4	0.62%
関心度がとても低くなった	2	0.31%
未回答	8	1.23%

(4) 地球温暖化対策について

<地球温暖化対策への関心>

子ども世代・一般世代のいずれも「関心度がとても高くなった」と「関心度が高くなった」の合計が85%を超えており、世代を問わず、地球温暖化への対策に大きな関心が寄せられていることが確認できる結果となりました。

問12 地球温暖化対策への関心

【子ども】

(n=665)

選択肢	回答数	回答率
とても関心がある	211	31.73%
少し関心がある	358	53.83%
どちらでもない	59	8.87%
あまり関心がない	24	3.61%
全く関心がない	12	1.80%
未回答	1	0.15%

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
とても関心がある	269	41.51%
少し関心がある	308	47.53%
どちらでもない	39	6.02%
あまり関心がない	19	2.93%
全く関心がない	9	1.39%
未回答	4	0.62%

<地球温暖化を防ぐために必要だと思う取組み・電気自動車の普及への考え>

子ども世代・一般世代のいずれも「電気やガス、水のムダづかいに気をつける」が最も多く、世代を問わず、日頃の生活から地球温暖化対策に取り組む意識が高まっていることが確認できる結果となりました。また、電気自動車の普及についても、いずれの世代も今後普及すべきとの考えが最も多い結果となりました。

問 1 3 地球温暖化を防ぐために必要だと思う取組み（複数回答）

【子ども】

(n=665)

選択肢	回答数	回答率
電気やガス、水のムダづかいに気をつける	536	80.60%
省エネ型の家電や照明器具(LEDなど)を使う	330	49.62%
環境にやさしい自動車の運転をする	343	51.58%
花や木、野菜、緑のカーテンなどの植物を育てる	352	52.93%
徒歩や自転車、公共交通機関での移動を心がける	252	37.89%
太陽光発電など二酸化炭素を出さない電気を使う	416	62.56%
わからない	21	3.16%
未回答	1	0.15%

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
電気やガス、水のムダづかいに気をつける	546	84.26%
省エネ型の家電や照明器具(LEDなど)を使う	461	71.14%
アイドリングストップなど、エコドライブを実践する	261	40.28%
花や木、野菜、緑のカーテンなどの植物を育てる	291	44.91%
徒歩や自転車、公共交通機関での移動を心がける	297	45.83%
環境に配慮した電力会社を選んで契約する	59	9.10%
わからない	22	3.40%
未回答	2	0.31%

問 1 4 今後の電気自動車の普及に対する考え

【子ども】

(n=665)

選択肢	回答数	回答率
今後、電気自動車はさらに多くの人が使っていくべきだと思う	514	77.29%
今後、電気自動車はさらに多くの人が使っていくべきだと思わない	40	6.02%
わからない	107	16.09%
未回答	4	0.60%

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
今後、電気自動車はさらに普及すべきだと思う	399	61.57%
今後、電気自動車はさらに普及すべきだと思わない	70	10.80%
わからない	169	26.08%
未回答	9	1.39%

(5) ごみの減量化について

<生ごみ処理機の利用状況・家庭ゴミ減量の工夫>

子ども世代・一般世代のいずれも生ごみ処理機を現在使用しているのは約1割前後という結果でした。一方で、「分別しやすい環境の整備」や「生ごみの減量」に関する工夫は、世代を問わず半数以上の世代で実施されています。

問15 生ごみ処理機の利用状況

【子ども】

(n=665)

選択肢	回答数	回答率
今、使用している	62	9.32%
前に使用していた	20	3.01%
今後使用する予定	12	1.80%
使用していない	570	85.71%
未回答	1	0.15%

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
現在使用している	75	11.57%
以前使用していた	33	5.09%
今後使用する予定	24	3.70%
使用していない	512	79.01%
未回答	4	0.62%

問16 家庭ごみ減量の工夫（複数回答）

【子ども】

(n=665)

選択肢	回答数	回答率
生ごみの減量（水切り・調理法の工夫・食べられる分だけ買うなど）	347	52.18%
使い捨て商品を避け、繰り返し使用できる商品を選ぶ	281	42.26%
リサイクルショップの使用によるごみの排出抑制	169	25.41%
分別しやすい環境の整備（分別ごとに複数のごみ箱を用意するなど）	602	90.53%
その他自由記載	76	11.43%
未回答	1	0.15%

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
生ごみの減量（水切り・調理法の工夫・食べられる分だけ買うなど）	445	68.67%
使い捨て商品を避け、繰り返し使用できる商品を選ぶ	230	35.49%
リサイクルショップの使用によるごみの排出抑制	126	19.44%
分別しやすい環境の整備（分別ごとに複数のごみ箱を用意するなど）	472	72.84%
その他自由記載	64	9.88%
未回答	4	0.62%

<その他自由記載の概要>

【子ども】

記載内容	回答数	主なコメント
食べ残しの削減	8	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の皮も食べられるよう調理する。 調理するとき余り物が出ないようにする。
不用品は買わない・長く使い続ける工夫	43	<ul style="list-style-type: none"> 服などは親戚に譲ったり、リサイクルショップへ 破れた衣服などは繕う。または、雑巾などに変える。 買う前に必要なものであるかを考える。
プラスチック製品を使わない取組・過剰包装を避ける	10	<ul style="list-style-type: none"> ビニール袋はすぐ捨てずに、繰り返し使う。 買い物にはエコバックを使用する。 個包装商品は買わない。詰め替え用商品を買う。
リサイクル活動への取組	6	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル活動への参加 3Rに取り組む
生ごみ処理の実施	8	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみを肥料とする。(生ごみ処理機含む) ディスポーザを使用
ごみ減量に対する知識の向上	1	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりがごみについて知ること
その他	0	

【一般】

選択肢	回答数	主なコメント
食べ残しの削減	8	<ul style="list-style-type: none"> 野菜や果物の種、茶殻も極力食用に変える 野菜の皮を調理する。または、皮のまま調理する。
不用品は買わない・長く使い続ける工夫	20	<ul style="list-style-type: none"> 不用品は譲り渡す又はリサイクル 不要な物は買わない、もらわない。 良品を購入、メンテナンスして使うことを心がける。
プラスチック製品を使わない取組・過剰包装を避ける	10	<ul style="list-style-type: none"> 食品トレーやプラスチックの使用を減らす。 エコバックの使用
リサイクル活動への取組	7	<ul style="list-style-type: none"> 資源物の店頭回収 不用品のリサイクルサービスの活用
生ごみ処理の実施	13	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみを肥料とする。(生ごみ処理機含む) ディスポーザを使用
ごみ減量に対する知識の向上	4	<ul style="list-style-type: none"> 分別の徹底、有料化に伴うごみ出しの工夫
その他	2	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス化 布おむつなど繰り返し使える物による代替

(6) 自然環境について

<地域の自然や景観に対する考え>

「良い」または「やや良い」と回答したのが、子ども世代では約60%、一般世代も約56%という結果になり、いずれの世代も概ね地域の自然や景観に親しみをもっていることが確認できました。一方で、自然とふれあう機会やみどりの多さについては、いずれの世代も「普通」の回答が最も多かったものの、「多い」または「やや多い」の回答数が「少ない」または「やや少ない」の回答数を上回る結果となりました。

問17 地域の自然や景観に対する考え

【子ども】

(n=665)

選択肢	回答数	回答率
良い	252	37.89%
やや良い	157	23.61%
普通	192	28.87%
やや悪い	53	7.97%
悪い	10	1.50%
未回答	1	0.15%

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
良い	179	27.62%
やや良い	190	29.32%
普通	223	34.41%
やや悪い	41	6.33%
悪い	11	1.70%
未回答	4	0.62%

問18 地域の自然とふれあう機会

【子ども】

(n=665)

選択肢	回答数	回答率
多い	90	13.53%
やや多い	138	20.75%
普通	266	40.00%
やや少ない	90	13.53%
少ない	79	11.88%
未回答	2	0.30%
合計	665	100.00%

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
多い	72	11.11%
やや多い	138	21.30%
普通	275	42.44%
やや少ない	86	13.27%
少ない	73	11.27%
未回答	4	0.62%
合計	648	100.00%

問19 地域のみどりの多さ

【子ども】

(n=665)

選択肢	回答数	回答率
多い	112	16.84%
やや多い	187	28.12%
普通	226	33.98%
やや少ない	99	14.89%
少ない	40	6.02%
未回答	1	0.15%
合計	665	100.00%

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
多い	72	11.11%
やや多い	141	21.76%
普通	273	42.13%
やや少ない	108	16.67%
少ない	50	7.72%
未回答	4	0.62%
合計	648	100.00%

(7) 生物多様性について

<地域の生きものとふれあう機会に対する考え>

地域の生きものとふれあう機会については、いずれの世代も「普通」の回答が最も多かったものの、「少ない」または「やや少ない」の回答数が「多い」または「やや多い」の回答数を上回る結果となりました。

問20 地域の生きものとふれあう機会に対する考え

【子ども】

(n=665)

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
多い	94	14.14%
やや多い	116	17.44%
普通	184	27.67%
やや少ない	134	20.15%
少ない	137	20.60%
未回答	0	0.00%
不明	0	0.00%

選択肢	回答数	回答率
多い	51	7.87%
やや多い	116	17.90%
普通	238	36.73%
やや少ない	106	16.36%
少ない	131	20.22%
未回答	5	0.77%
不明	1	0.15%

<えびな生きもの大調査>

令和3年度から開始した参加型イベントである「えびな生きもの大調査」の認知度は子ども世代が20%を超えた一方で、一般世代は10%に届いていない結果となりました。

イベントを知ったきっかけについては、子ども世代は学校・習い事が、一般世代では広報えびなの割合が多くなりました。

問21 「えびな生きもの大調査」の認知度

【子ども】

(n=665)

【一般】

(n=648)

選択肢	回答数	回答率
知っていて、参加した	21	3.16%
知っていたが、不参加	134	20.15%
イベントを知らなかった	510	76.69%
未回答	0	0.00%

選択肢	回答数	回答率
知っていて、参加した	3	0.46%
知っていたが、不参加	51	7.87%
イベントを知らなかった	590	91.05%
未回答	4	0.62%

問22 「えびな生きもの大調査」を知ったきっかけ

※問21で「知っていて、参加した」または「知っていたが、不参加」を選択した人が回答

【子ども】

(n=155)

【一般】

(n=54)

選択肢	回答数	回答率
広報えびな	22	14.19%
市HP・フェイスブック	0	0.00%
その他インターネット	3	1.94%
メールマガジン	1	0.65%
学校・習い事	105	67.74%
コミセンなどのチラシ	9	5.81%
家族や友だち等との会話	13	8.39%
未回答	2	1.29%

選択肢	回答数	回答率
広報えびな	33	61.11%
市HP・フェイスブック	0	0.00%
その他インターネット	0	0.00%
メールマガジン	0	0.00%
学校・職場	16	29.63%
公共施設の配架物	1	1.85%
家族や知人との会話	0	0.00%
未回答	4	7.41%

3 自由意見

<自由意見の概要>

【子ども】

記載内容	回答数	主なコメント
SDGs	24	<ul style="list-style-type: none"> ・まずはSDGsの目的などを広い世代に知ってもらうべき ・17の目標の達成に向けてSDGsの取組みを継続してほしい ・子どもでもわかりやすいように取組みを進めてほしい
環境への関心	21	<ul style="list-style-type: none"> ・市で行っているイベントのことをもっと多くの人に知ってもらえるようにしてほしい ・環境を変えることで、自分たちにどのような影響があるのかがもっと分かると、関心が高まると思う ・市の環境に関する取組みを子どもでも簡単にチェックできるようにしてほしい
地球温暖化対策	15	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の省エネを目指してほしい。 ・電気自動車の充電場所を増やしてほしい。 ・電気自動車をただ増やすだけでなく、その動力である電気を再生可能エネルギーで発電する方法がもっと増えてほしい。
ごみの減量化	31	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみの削減を進めてほしい ・リサイクルボックスを増やしてほしい ・ごみの分別をしっかりと行うことが必要
自然環境	55	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が身近に感じられるように、緑を増やす活動をしてほしい ・自然環境を守るために田んぼを減らさないでほしい ・河川のごみを減らしてきれいな環境を守ってほしい
生物多様性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・哺乳類だけでなく、虫なども同じ生きものとして大切にしていきたい ・多様な生物が暮らしていける環境を整えることはとても良いことだと思う
まちづくり	11	<ul style="list-style-type: none"> ・空き地に公園を造ってほしい ・人々を守るために地震や台風などの災害に備える工夫をしてほしい
その他	27	タバコのポイ捨て、フードロス、コロナ対応、ジェンダー、等

【一般】

選択肢	回答数	主なコメント
SDGs	26	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を示してもらえると実践しやすいと思う ・具体的な取組みを提案・実行し、振替えることが必要である ・次世代を担う若者・子どもたちがその意義を理解し体得することが必要である
環境への関心	5	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が終わったら子どもたちとイベントに参加したい ・もっといろんな世代に環境問題を訴えるべき
地球温暖化対策	15	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンな電力の供給が進めば電気自動車が増えてもよいと思う ・省エネ設備やエコカーへの補助をしてほしい ・市内の自然環境を活用して再生可能エネルギーを増やす取組みを検討してもらいたい
ごみの減量化	36	<ul style="list-style-type: none"> ・過剰包装などによるプラスチックごみの削減を進めてもらいたい ・ごみ収集袋の価格を見直してほしい ・市内のごみ焼却施設を利用する近隣2市のごみ収集袋の有料化を促してほしい ・個人の努力だけでなく産業界のごみ削減の努力が必要だと思う
自然環境	21	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地化が進み、自然や生きものに触れあえる場が減っていると思う ・自然環境を守りながら発展してもらいたい ・緑と触れあえる公園を造ってほしい
生物多様性	5	<ul style="list-style-type: none"> ・昔と比べると野鳥や昆虫が年々少なくなっていると思う ・休耕田などを利用してビオトープを作ってもらいたい
まちづくり	23	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの発展に伴う景観の悪化への対策を考えてもらいたい ・道路事情の改善に力をいれてもらいたい
その他	46	貧困対策、子育て対策、野焼き、コロナ対応、等